

核兵器禁止条約の第２回締約国会議（11/27〜12/1）が、国連
本部で開催されました。日本政府は禁止条約を「核兵器のない世界への“出口”とも言える重要な条約」としながら、会議に傍聴（オブ
ザーバー）参加すらしませんでした。“入り口”にすら立とうとし
ない姿勢に、被爆者からも強い批判の声が上がっています。

ロシアが核兵器使用の威嚇を繰り返しながら、ウクライナ侵略を
つづけています。そして、パレスチナ・ガザ地区へのイスラエルの
無差別報復攻撃が連日報道されています。軍事力の強化では、けっして平和は訪れません。核兵器の使用はもちろん、その威嚇も許してはなりません。唯一の被爆国、平和憲法をもつ日本政府はいまこそ、
核兵器の非人道性と国際秩序、紛争の平和敵解決を、率先して世界に訴えるときです。核兵器禁止条約に一刻も早く参加しなければなりません。

「日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名」にご協力ください。（2023・12・6）

核兵器のない平和で公正な世界実現を

「軍事費」２倍で、ステルス増税＆

暮らし・福祉・教育にもさらなるシワ寄せ

核兵器禁止条約の会議に傍聴すらしない日本政府



**「日本政府に核兵器禁止**

**条約の署名・批准を求める署名」ページQRコード**

核兵器禁止条約参加･批准こそ平和への道

日本政府に核兵器禁止条約への署名・批准を求めよう

国連認証ＮＧＯ：原水爆禁止日本協議会（日本原水協）

〒113-8464　東京都文京区湯島２丁目４－４

TEL 03-5842-6031 HP: http//www.antiatom.org

E-mail antiatom55@hotmail.com